EDIROL by Roland はじめに必ずお読みください

UA-4FX　取扱説明書

パッケージの内容を確認しよう

UA-4FX には次の内容物が含まれています。パッケージを開けたら、まず、すべての内容物があるかどうかを確認しましょう。不足している場合は、お買い上げになった販売店までご連絡ください。

■ UA-4FX

■ 日本語パネル・シート

エフェクトの操作部分が日本語で記載されています。UA-4FX のアドバンス・エフェクト部に貼付けてお使いになると便利です。

■ USB ケーブル

パソコンの USB コネクターと UA-4FX の USB コネクターを接続するのに使用します。接続方法は、『**はじめに必ずドライバをインストールしてください**』（P.2）をご覧ください。
USB ケーブルは、必ず付属のものをお使いください。破損などにより、付属の USB ケーブルが必要な場合は、保証書の封筒に記載の「サービスの窓口」までご連絡ください。

■ CD-ROM

UA-4FX をお使いになるための次のソフトウェアが収録されています。

- Sound it! （Windows ／ Macintosh）
- Virtual Sound Canvas 3（VSC 3）（Windows 版のみ）

また、UA-4FX をお使いになるためのドライバが収録されています。詳しくは、『**はじめに必ずドライバをインストールしてください**』（P.2）をお読みください。

※ 付属の CD-ROM を開封する前に、別紙の使用許諾契約書を必ずお読みください。

※ ディスクの裏面（信号面）に触れたり、傷を付けたりしないでください。データの読み出しがうまくいかないことがあります。ディスクの汚れは、市販の CD 専用クリーナーでクリーニングしてください。

※ CD-ROM の中にある Readme ファイルを必ずお読みください。最新の追加情報がある場合、Readme ファイルに記載してあります。

※ CD-ROM を、一般のオーディオ CD プレーヤーで再生しないでください。大音量によって耳を痛めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。

■ はじめに必ずお読みください（取扱説明書）

本書です。UA-4FX をご使用になる前に、必ずお読みください。常に手元に置いて、いつでも参照できるようにしましょう。

■ 応用ガイド

より詳しい操作方法をご覧になりたい場合にお読みください。

■ 使用許諾契約書（2 枚）

インターネット・ソフトウェア使用許諾契約書は、Sound it! に関する使用許諾書です。ローランド・ソフトウェア使用許諾契約書は、Sound it! 以外の付属ソフトウェアに関する使用許諾契約書です。
これらの使用許諾契約は、ローランドおよび株式会社インターネットが著作権を有するソフトウェアに関し、お客様に対してソフトウェアの使用を許諾するための契約ですので、必ずCD-ROM パッケージを開封する前にお読みください。
また、ソフトウェアのインストール時に契約の内容が画面に表示されるものもありますので、そちらも必ずお読みください。

■ ローランド ユーザー登録カード

UA-4FX のユーザーとして登録していただくためのカードです。

■ インターネット社 ユーザー登録カード

Sound it!のユーザーとして登録していただくためのカードです。

■ 保証書

UA-4FX本体の保証書です。保証期間内にUA-4FXの修理を受ける際に必要ですので、記載事項をご確認の上、大切に保管してください。
この保証書で保証されているのは UA-4FX 本体のみです。「サービスの窓口」は、修理に関するお問い合わせ先です。UA-4FX の使い方に関しては、「DTM ホットライン」へお問い合わせください。

これらは別途準備しましょう

- 外部アンプ、スピーカー、ヘッドホン、マイク
- MD や DAT レコーダー、デジタル入出力用のケーブル　など。

04019134　　1SX

はじめに必ずドライバをインストールしてください

ドライバとは、パソコンと UA-4FX が接続されているときに、パソコン上のアプリケーション・ソフトウェアと UA-4FX との間でデータのやりとりをするソフトウェアです。ドライバは、アプリケーション・ソフトウェアからの情報を UA-4FX に送ったり、逆に UA-4FX からの情報をアプリケーション・ソフトウェアに渡したりします。

お使いの環境によって、ドライバのインストールおよび設定の手順が異なります。
以下の中からご自分にあった項目へお進みください。

- Windows XP ／ 2000 をお使いのとき P.2
- Windows Me ／ 98 をお使いのとき P.5
- Mac OS X をお使いのとき P.9
- Mac OS 9 をお使いのとき . . . . 応用ガイド P.57

UA-4FX 本体で操作する手順には UA-4FXの操作 マークがついています。

ドライバのインストールと設定（Windows）

ドライバのインストール

Windows XP ／ 2000 をお使いのとき

1. UA-4FXを接続していない状態でWindowsを起動します。
手順 12（P.4）まで UA-4FX は、パソコンに接続しないでください。

※ USB キーボードと USB マウス以外のすべての USB ケーブルをはずした状態にしておいてください。

※ アカウントの種類がパソコンの管理者であるユーザー名（Administrator など）で、Windows にログオンしてください

2. 起動中のソフトウェアをすべて終了します。

開いているウィンドウもすべて閉じてください。ウィルス・チェッカーなどのソフトウェアをお使いのときは、それらも必ず終了してください。

3. CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。

※ 「**この種類のファイルのディスクを挿入したり～。**」と表示された場合には、[**キャンセル**] をクリックします。

4. **マイコンピュータ**を開きます。

Windows XP の場合：
Windows の**スタート**・メニューから**マイコンピュータ**を選びます。

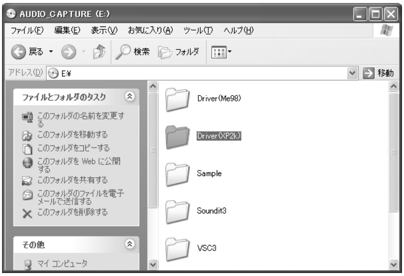


Windows 2000 の場合：
デスクトップにある **マイコンピュータ**をダブルクリックします。

5. AUDIO_CAPTURE をダブルクリックします。



6. Driver(XP2k) をダブルクリックします。



7. Setup をダブルクリックします。



8. Driver Setup ダイアログが表示されます。
［次へ］をクリックします。

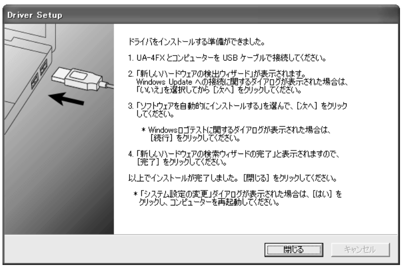
9. インストールを開始するために再度［次へ］をクリックします。インストールが始まります。



Windows XP の場合：
ドライバ署名オプション・ダイアログの設定が「**無視**」になっていないと、「！」または「×」**マーク**のダイアログが表示されることがあります。［**続行**］ボタンが表示されている場合は、［**続行**］をクリックしてインストールを続行します。
続行できない場合は［OK］をクリックしてインストールを一旦終了させ、**ドライバ署名オプション**を「**無視**」に設定した後、もう一度手順 1 からやり直してください。
（参照→**応用ガイド『ドライバ署名オプションを設定する』**（P.63））

Windows 2000 の場合：
ドライバ署名オプション・ダイアログの設定が「**無視**」になっていないと、「**デジタル署名が見つかりませんでした**」というダイアログが表示されることがあります。
［**はい**］ボタンが表示されている場合は、［**はい**］をクリックしてインストールを続行します。表示されない場合は、［OK］をクリックしてインストールを一旦終了させ、**ドライバ署名オプション**を「**無視**」に設定した後、もう一度手順 1 からやり直してください。
（参照→**応用ガイド『ドライバ署名オプションを設定する』**（P.63））

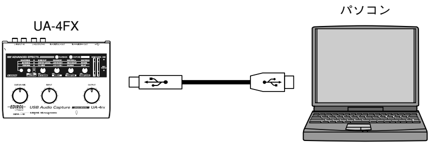
10.「**ドライバをインストールする準備ができました。**」というダイアログが開きます。
ドライバをインストールする準備ができました。



11. UA-4FXの操作 UA-4FX の **ADVANCE（モード切り替え）スイッチ**を **ON** に設定します。

※ **ADVANCE（モード切り替え）スイッチ**を **OFF** にしていると、以下の手順通りにインストールが行われません。

12. UA-4FXの操作 UA-4FX をパソコンに接続します。



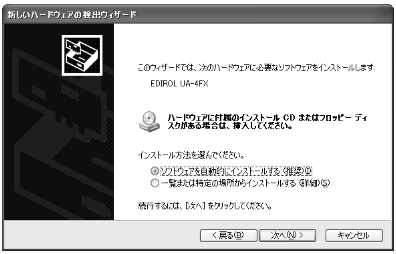
「**新しいハードウェアが見つかりました**」と表示されます。そのまましばらくお待ちください。

※ UA-4FX は回路保護のため USB 接続をしてからしばらくは動作しません。

Windows XP の場合：

1. **新しいハードウェアの検出ウィザード・ダイアログ**が表示されます。
新しいハードウェアの検出ウィザードで Windows Updateに接続するかを尋ねられた場合は「**いいえ、〜。**」を選んで［**次へ**］をクリックします。

2. 「**EDIROL UA-4FX**」と表示されていることを確認し「**ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）**」を選んで［**次へ**］をクリックします。



※ 「**！**」**マーク**のダイアログが表示されることがあります。［**続行**］をクリックしてインストールを続行します。

Windows 2000 の場合：

「**デジタル署名が見つかりませんでした**」というダイアログが表示されることがあります。［**はい**］ボタンが表示されている場合は、［**はい**］をクリックしてインストールを続行します。

13.「**新しいハードウェアの検索ウィザードの完了**」と表示されます。
［**完了**］をクリックします。

14. **Driver Setup** ダイアログで［**閉じる**］をクリックします。
システム設定の変更ダイアログが表示された場合は［**はい**］をクリックしてください。
Windows が自動的に再起動します。

※ 表示されない場合、再起動する必要はありません。

以上でドライバのインストールが完了しました。
次にドライバの設定を行います。
（→『**ドライバの設定**』（P.6））

Windows Me ／98 をお使いのとき

1. UA-4FX を接続していない状態で Windows を起動します。
手順 9 まで UA-4FX は、パソコンに接続しないでください。

2. 起動中のソフトウェアをすべて終了します。

開いているウィンドウもすべて閉じてください。ウィルス・チェッカーなどのソフトウェアをお使いのときは、それらも必ず終了してください。

3. CD-ROM を準備します。

CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブに入れます。

4. Windows の**スタート**・メニューから**ファイル名を指定して実行**を選んでください。

ファイル名を指定して実行ダイアログが開きます。

5. 表示されたダイアログの**名前**欄に次のよう入力して［**OK**］をクリックします。

D:¥Driver(Me98)¥Setup.exe

※ ドライブ名 **D:** は、お使いの環境によって異なる場合があります。お使いの CD-ROM ドライブ名に合わせてください。

6. **Driver Setup** ダイアログが表示されます。

［**次へ**］をクリックします。

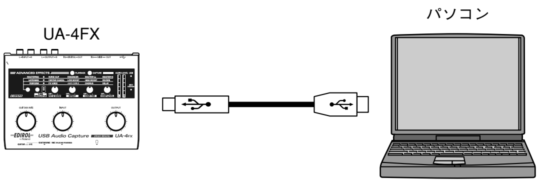
7. インストールを開始するために、再度［**次へ**］をクリックします。インストールが始まります。
「**ドライバをインストールする準備ができました。**」というダイアログが開きます。

ドライバをインストールする準備ができました。

8. UA-4FXの操作 UA-4FX の **ADVANCE（モード切り替え）スイッチ**を **ON** に設定します。

※ ADVANCE（モード切り替え）スイッチを OFF にしていると、以下の手順通りにインストールが行われません。

9. UA-4FXの操作 UA-4FX をパソコンに接続します。
「**新しいハードウェアが見つかりました**」と表示されます。そのまましばらくお待ちください。



※ UA-4FX は回路保護のため USB 接続をしてからしばらくは動作しません。

10. **Driver Setup** ダイアログで［**閉じる**］をクリックします。

次にドライバの設定を行います。（→『**ドライバの設定**』（P.6））

ドライバの設定

お使いのソフトウェアを最適なパフォーマンスでお使いいただくために、正しくデバイスを設定する必要があります。

入出力デバイスの設定

Windows に付属のメディア・プレーヤーで UA-4FX をお使いになる場合には、次の手順で入出力デバイスを設定します。
UA-4FX のオーディオ・ドライバは、WDM ／ ASIO 2.0 に対応していますが、お使いのソフトウェアによって、デバイスの設定方法が異なります。詳しくは、ソフトウェアの取扱説明書などを参照してください。

Windows XP をお使いのとき

※ お使いの状態によっては、**サウンドとオーディオ デバイス**・アイコンが直接**コントロールパネル**に表示されていることがあります（クラシック表示）。そのときは**サウンドとオーディオ デバイス**・アイコンをダブルクリックします。

1. **サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ**・ダイアログを開きます。
   1. Windows の**スタート**・メニューから**コントロールパネル**を選びます。
   2. 「**作業する分野を選びます**」から**サウンド、音声、およびオーディオデバイス**をクリックします。
   3. 「**コントロールパネルを選んで実行します**」から、**サウンドとオーディオデバイス**・アイコンをクリックします。
2. **オーディオ**・タブをクリックします。
3. **音の再生**、**録音**、**MIDI 音楽の再生**の**既定のデバイス**欄をクリックし、表示されるリストから以下のデバイスを選びます。

音の再生	EDIROL UA-4FX
録音	EDIROL UA-4FX
MIDI 音楽の再生	EDIROL UA-4FX

4. ［**OK**］をクリックして、**サウンドとオーディオデバイスのプロパティ**・ダイアログを閉じます。



以上で、オーディオと MIDI の入出力先の設定が終わりました。
次に『**音が鳴るか確認する**』（P.8）に進みます。

Windows 2000/Me をお使いのとき

1. **サウンドとマルチメディアのプロパティ**・ダイアログを開きます。

  1. Windowsの**スタート**・メニューから**設定**｜**コントロールパネル**を選びます。

  2. **コントロールパネル**にある**サウンドとマルチメディア・アイコン**をダブルクリックします。

※ **サウンドとマルチメディア**・アイコンが表示されない場合は、左側のフレームから、**すべてのコントロールパネルのオプションを表示する**をクリックします。

2. **オーディオ**・タブをクリックします。



3. **音の再生**、**録音**の**優先するデバイス**、**MIDI 音楽の再生**をクリックし、表示されるリストから以下の項目を選びます。

音の再生	EDIROL UA-4FX
録音	EDIROL UA-4FX
MIDI 音楽の再生	EDIROL UA-4FX

4. **サウンドとマルチメディアのプロパティ**・ダイアログを閉じます。

  ［**OK**］をクリックしてください。

以上で、オーディオと MIDI の入出力先の設定が終わりました。
次に『**音が鳴るか確認する**』（P.8）に進みます。

Windows 98 をお使いのとき

1. **マルチメディアのプロパティ**・ダイアログを開きます。

  1. **Windows** の**スタート**・メニューから**設定**｜**コントロールパネル**を選びます。

  2. **コントロールパネル**にある**マルチメディア**・アイコンをダブルクリックします。

2. **オーディオ**・タブをクリックします。



3. **再生**と**録音**の**優先するデバイス**をクリックし、表示されるリストから以下の項目を選び、［**適用**］をクリックします。

再生	EDIROL UA-4FX
録音	EDIROL UA-4FX

4. **MIDI** タブをクリックします。

5. **MIDI 出力**の**単一の機器**にチェックマークを付けて、**EDIROL UA-4FX** を選択します。



6. **マルチメディアのプロパティ**・ダイアログを閉じます。

[**OK**] をクリックしてください。

以上で、オーディオと MIDI の入出力先の設定が終わりました。
次に『**音が鳴るか確認する**』(P.8) に進みます。

音が鳴るか確認する

接続と設定が正しく行われたか、サンプル・データを再生して確認してみます。
ここでは、Windows 標準の機能を使って、サンプル・データを再生します。サンプル・データは CD-ROM に収録されています。
再生音は、UA-4FX 本体のヘッドホンやライン出力ジャックから出力されます。『**UA-4FX の基本的な接続方法**』(P.12) を参考にして、ヘッドホンやモニター・スピーカーなどを接続しておいてください。

本製品に付属している曲データを個人で楽しむ以外に権利者の許諾なく使用することは、法律で禁じられています。権利者に無断でこれらのデータの複製を作ったり、二次的著作物で利用したりしてはいけません。

1. CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。
2. CD-ROM の **Sample** フォルダ中にある **Alright** (**.wav**) をデスクトップにコピーします。
3. UA-4FX の**サンプリング周波数切り替えスイッチ**を **44.1kHz** に設定してください。

   サンプリング周波数を変更した場合には、パソコンと UA-4FX を接続している USB ケーブルをいったん外して接続しなおしてください。

4. コピーしたファイル **Alright** (**.wav**) を右クリックします。

   Windows XP / 2000 の場合:

   1. 表示されるメニューから**再生**を選びます。

   Windows Me / 98 の場合:

   1. 表示されるメニューから**プロパティ**を選びます。
   2. **テスト**・タブをクリックしてから ▶ ボタンをクリックします。

演奏がはじまります。
サンプルデータが正しく演奏されていれば、パソコンと UA-4FX の接続が正しく行われ、ドライバも正しくインストールされていることになります。

※ Windows XP をお使いの方は、ドライバの処理をスムーズにするために、バックグラウンドの処理を優先する設定を行うことをお奨めします。
(参照→**応用ガイド『バックグラウンドの処理を優先する (Windows)』**(P.62))

ドライバのインストールと設定（Mac OS X）

※　Mac OS 9 をお使いのときは、**応用ガイド**（P.57）をご覧ください。

※　最新 OS への対応状況、ドライバなどの情報については **http://www.roland.co.jp/cs/** をご覧ください。

ドライバのインストール

※　インストールの途中で**認証**ダイアログが表示されたら、パスワードを入力し、［**OK**］をクリックしてください。

※　お使いの環境によって表示の内容が異なる場合があります。

1. UA-4FX を接続していない状態で Macintosh を起動します。

※　USB キーボードと USB マウス以外のすべての USB ケーブルをはずした状態にしておいてください。

2. 起動中のソフトウェアをすべて終了します。

3. CD-ROM を準備します。CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。

4. CD-ROM の **Driver**（**Mac OS X**）フォルダにある **UA4FXUSBDriver.pkg** をダブルクリックします。
「**インストールできるかどうかを判断するプログラムが、～**」と表示されることがあります。
［**続ける**］をクリックします。

5.「**ようこそ EDIROL UA-4FX Driver インストールへ**」と表示されます。
［**続ける**］をクリックします。
「**インストールできるかどうかを判断するプログラムが、～**」と表示されることがあります。
［**続ける**］をクリックします。

6.「**インストール先の選択**」と表示されます。

システムがインストールされているドライブをクリックして選択し、［**続ける**］をクリックします。

※　ドライブは起動ディスクを選択してください。

7.「**簡易インストール**」と表示されます。
［**インストール**］または［**アップグレード**］をクリックします。

8.「**このソフトウェアをインストールすると、インストールが終了したときにコンピューターの再起動が必要になります。～**」と表示されます。
［**インストールを続ける**］をクリックします。

9.「**“再起動”をクリックして、～**」と表示されます。
［**再起動**］をクリックして Macintosh を再起動します。

これで UA-4FX ドライバのインストールは終了しました。
続いてデバイスの設定を行います。（→『**ドライバの設定**』（P.10））

ドライバの設定

Macintosh に付属の iTunes で UA-4FX をお使いになる場合には、次の手順で入出力デバイスを設定します。
お使いのソフトウェアによって、デバイスの設定方法が異なります。詳しくはソフトウェアの取扱説明書などを参照してください。

1. UA-4FXの操作 UA-4FX の **ADVANCE(モード切り替え)スイッチ**を **ON** に設定します。

2. UA-4FXの操作 UA-4FX と **Macintosh** を **USB ケーブル**で接続します。

Macintosh 本体の USB 端子へ接続してください。キーボードの USB 端子には接続しないでください。

※ UA-4FX は回路保護のため USB 接続をしてからしばらくは動作しません。

3. **システム環境設定**または **System Preferences** を開き、その中の**サウンド**をクリックします。

4. **サウンドエフェクト**・タブの「**警告とサウンドエフェクトの再生装置**」で「**EDIROL UA-4FX 44.1kHz**」を選択します。

※ ここでは UA-4FX を 44.1kHz で使用する場合を例にしていますが、UA-4FX のサンプリング周波数設定により周波数が異なります。

5. **出力**タブの「**サウンドを出力する装置の選択**」で「**EDIROL UA-4FX 44.1kHz**」を選択します。

※ Macintosh の警告音を、UA-4FX からではなく Macintosh のスピーカーから出力したい場合は、**サウンドエフェクト**・タブの**警告とサウンドエフェクトの再生装置**で**内蔵スピーカ**を選んでください。

6. **入力**タブの「**サウンドを入力する装置の選択**」で「**EDIROL UA-4FX 44.1kHz**」を選択します。設定が終わったらダイアログを閉じます。

※ MIDI デバイス設定については、お使いのシーケンス・ソフトウェアから行います。詳しくは、お使いのシーケンス・ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

お使いになるためのご注意

ソフトウェアなどをお使いになる前に、以下の内容を確認してください。

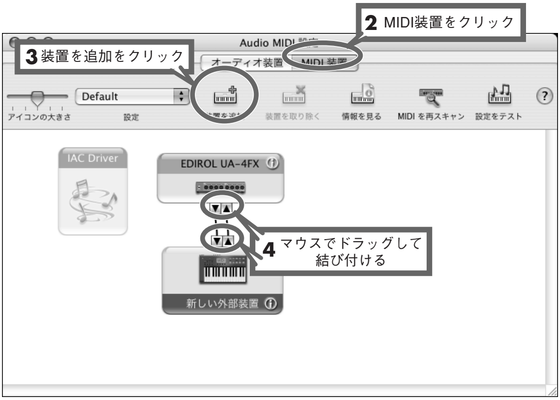
- ソフトウェアを起動する前に、UA-4FX と Macintosh を USB ケーブルで接続しておいてください。
- ソフトウェアの起動中に UA-4FX から USB ケーブルを抜かないでください。
- ソフトウェアなどを終了してから、UA-4FX に接続している USB ケーブルを抜いてください。
- Macintosh のスリープ設定は、OFF にしてご利用ください。
- Mac OS X のクラシック(Classic)環境では動作しません。クラシック環境を起動していない状態でお使いください。
- お使いの Macintosh の機種によっては、UA-4FX が接続された状態で Macintosh を起動すると、動作が不安定になることがあります。そのような場合は、Macintosh が起動した後に UA-4FX を接続してください。

お使いになるソフトウェアに応じたデバイスの設定方法については、ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

MIDI の設定

MIDI を扱う場合には、この設定を行ってください。

1. Macintosh のハードディスクの**アプリケーション**・フォルダを開き、**ユーティリティ**・フォルダから、**Audio MIDI 設定**を選び、**Audio MIDI 設定**ダイアログを開きます。



2. **MIDI 装置**タブをクリックします。
3. **装置を追加**をクリックします。

   新しい外部装置が表示されます。
4. **EDIROL UA-4FX** アイコンと**新しい外部装置**アイコンのそれぞれの出力と入力を意味する▼と▲をマウスでドラッグして結びます。

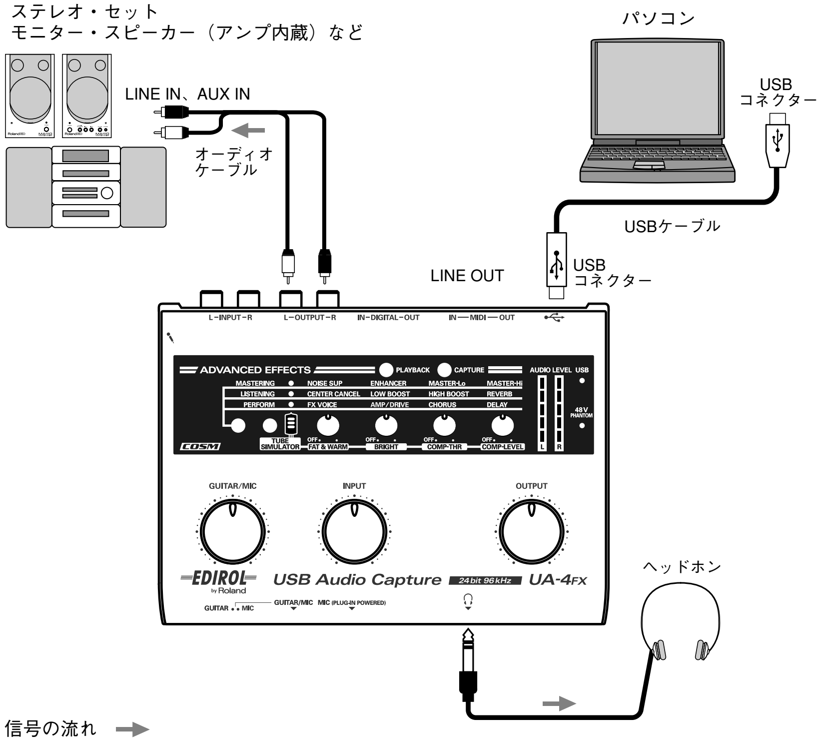
※ アイコンの変更やその他の項目は、UA-4FX の MIDI 端子に接続した MIDI 機器について設定してください。
新しい外部装置をダブルクリックすると、**新しい外部装置のプロパティ**・ダイアログが表示され、名称などを設定することができます。

続いてヘッドホンやモニター・スピーカーなどの接続を行います。
(→『**UA-4FX の基本的な接続方法**』(P.12))

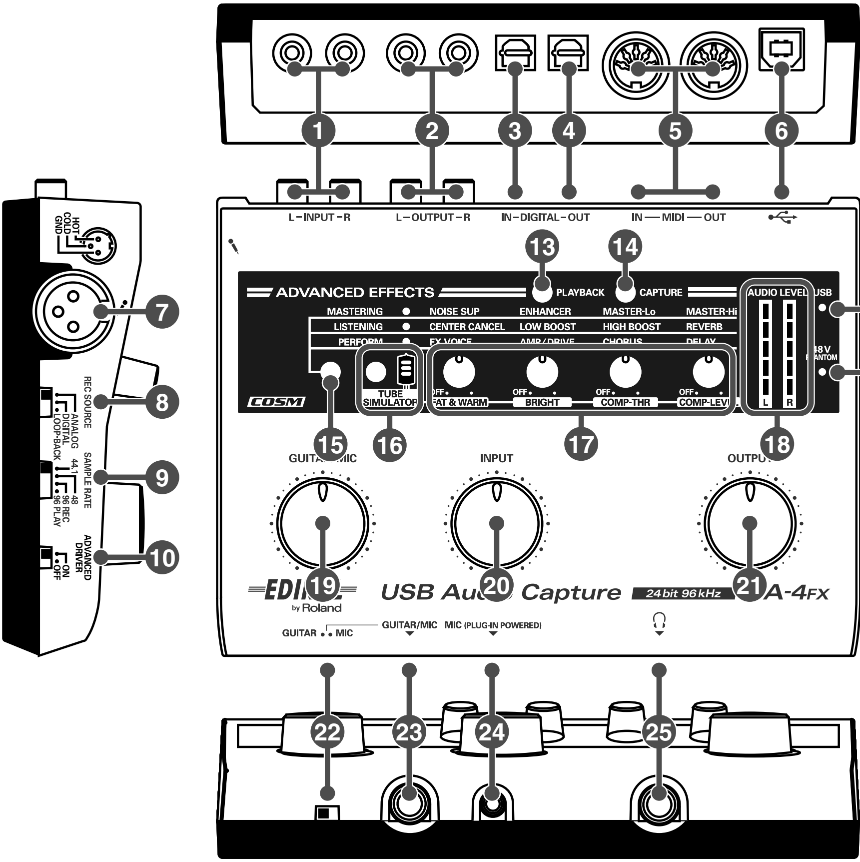
UA-4FX の基本的な接続方法

※ 他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべてのオーディオ機器の音量を絞った状態で接続を行ってください。

図のように、ヘッドホンやモニター・スピーカーなどを接続して、お使いのソフトウェアからの再生音を聴くことができます。



各部の名称とはたらき



1 ライン入力ジャック

オーディオ機器やMIDI音源などのオーディオ信号を入力するときに接続します。RCA ピン・タイプのケーブルで接続します。
音量の調整は、**入力ボリューム** (20) で行います。

2 ライン出力ジャック

アンプ内蔵スピーカーやステレオ・セットなどのオーディオ機器に接続します。
この端子から出力される音量の調整は、**出力ボリューム** (21) で行います。

3 デジタル入力コネクター（オプティカル）

CD/MD/DAT などのオーディオ機器のオーディオ信号をデジタルで入力するときに接続します。光デジタル・ケーブルを使います。

4 デジタル出力コネクター（オプティカル）

MD や DAT などのデジタル機器やドルビー・デジタルや DTS 方式のデコード・アンプにオーディオ信号をデジタルで出力するときに接続します。光デジタル・ケーブルを使います。

5 MIDI IN/OUT 端子

MIDI 機器を接続して、MIDI メッセージの送受信をします。

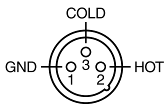
6 USB コネクター

USB ケーブルを使ってパソコンと接続し、オーディオ信号やMIDI信号のやりとりをします。

⑦ マイク入力ジャック（XLR タイプ）

マイク・プリアンプ対応のアナログ・オーディオ信号入力ジャックです。バランス／アン・バランスのいずれも接続が可能です。
入力定格：-45 〜 -12dBu
ファンタム電源 48V に対応しており、ファンタム電源対応のコンデンサー・マイクを接続することができます。その場合は、底面の**ファンタム電源スイッチ** ㉗ をオンにしてお使いください。

※ 本機はバランス（XLR）タイプの端子を装備しており、次のように配線されています。接続する機器の配線をご確認のうえ、接続してください。



⑧ 録音ソース切り替えスイッチ

USB経由でパソコンに送信する入力を切り替えます。

ANALOG	ギター・マイク入力ジャック、ライン入力ジャックに入力されたアナログ・オーディオ信号をパソコンへ送ります。
DIGITAL	**デジタル入力コネクター**の入力をパソコンに送ります。 ※ DIGITAL の状態では、パソコンからの音は聞こえません。 ※ デジタル入力コネクターに入力信号が送られてこない場合には、DIGITAL に設定されていても ANALOG に設定されたときと同じ動作になります。
LOOP-BACK	パソコンから USB 経由で出力されたオーディオ信号（音声）が、UA-4FX を通過して再びパソコンに戻ります。

⑨ サンプリング周波数切り替えスイッチ

オーディオ信号を録音／再生するときのサンプリング周波数を切り替えます。

※ 周波数を切り替えたら、UA-4FX とパソコンを接続している USB ケーブルをいったん外して接続しなおしてください。

※ **ADVANCE スイッチ** ⑩ が ON のときのみ有効です。ADVANCE スイッチが OFF のときは、スイッチの設定に関わらず、44.1kHz で動作します。

※ 96kHz 選択時の制限事項
録音／再生を同時に行うことはできません。
Effect を使用することはできません。

⑩ ADVANCE（モード切り替え）スイッチ

ドライバの動作モードを切り替えます。
通常は、ON（アドバンス・モード）に設定して使います。
（参照→**応用ガイド『標準ドライバ・モード（ADVANCE スイッチ OFF）』**（P.64））

※ 設定を切り替えた場合には、UA-4FX とパソコンを接続している USB ケーブルをいったん外して接続しなおしてください。

⑪ USB インジケーター

パソコンと UA-4FX を USB ケーブルで接続し、パソコンが UA-4FX を正しく認識すると青色に点灯します。

⑫ ファンタム電源インジケーター

底面の**ファンタム電源スイッチ** ㉗ をオンにすると点灯します。

⑬ プレイバック・ボタン（再生エフェクト）

パソコンで再生するオーディオ信号（音声）にエフェクトをかける場合には、**プレイバック・ボタン**を押してオン（赤く点灯）にします。入力されたオーディオ信号（音声）にエフェクトがかかっているように聴こえますが、録音されたオーディオ信号（音声）にはエフェクトはかかっていません。
プレイバック・ボタンが赤く点灯しているときに**プレイバック・ボタン**を押すと、消灯してエフェクトがオフの状態になります。エフェクトがオフの状態では、エフェクトがかかっていないそのままの音が再生されます。
（参照→**応用ガイド『再生側にエフェクトをかける場合』**（P.36））

※ 44.1kHz、48kHz のときのみオンにできます。

⑭ キャプチャー・ボタン（録音エフェクト）

パソコンに録音するためのオーディオ信号（音声）にエフェクトをかける場合には、**キャプチャー・ボタン**を押してオン（赤く点灯）にします。
キャプチャー・ボタンが赤く点灯しているときに**キャプチャー・ボタン**を押すと、消灯してエフェクトがオフの状態になります。エフェクトがオフの状態では、エフェクトがかかっていないそのままの音が録音されます。
（参照→**応用ガイド『録音側にエフェクトをかける場合』**（P.36））

※ 44.1kHz、48kHz のときのみオンにできます。

⑮ エフェクト・バリエーション・ボタン

エフェクトのタイプ（**1.MASTERING**、**2.LISTENING**、**3.PERFORM**）を切り替えます。
日本語パネルシートでは、**1. アナログ・ソースをデジタル化**、**2. リスニング／カラオケ**、**3. ボーカル／ギター**になります。
詳しくは、**応用ガイド『エフェクトをかける』**（P.34）をお読みください。

⑯ チューブ・シミュレーター・ボタン

真空管アンプをシミュレートする COSM エフェクトを ON にします。真空管特有の太くて暖かいサウンドをシミュレートしています。

※ 真空管アンプの微妙な特性をモデリングしているため、効果がわかりにくいことがあります。

⑰ エフェクトつまみ

エフェクトのかかり具合を調整します。
エフェクトのタイプ（MASTERING/LISTENING/PERFORM/TUBE SIMULATOR）によって、コントロールできるパラメーターが異なります。
詳しくは、**応用ガイド『エフェクトをかける』**（P.34）をお読みください。

⑱ 入力／出力レベル・インジケーター

各入力ジャックから入力された信号、出力コネクターから出力された信号のレベルに応じて LED が点灯します。
入力信号が一定時間途切れると、出力インジケーターに切り替わります。

入力レベル・インジケーター時：
音がひずむ直前のレベル（-6dB）になると赤く点灯します。
赤い LED が点灯しないように、ギター／マイク入力ボリュームあるいは入力ボリュームで入力レベルを調整してください。

出力レベル・インジケーター時：
オーディオ信号（音声）の出力状態の確認に使います。**デジタル出力コネクター** ④ から出力される音量によってLEDの点灯する数が変わります。

⑲ ギター／マイク入力ボリューム

マイク入力ジャック（プラグイン・パワード・マイク）㉔ 、**マイク入力ジャック（XLR タイプ）** ⑦ 、および**ギター／マイク入力ジャック** ㉓ に入力される音量を調節します。

※ ギターやマイクを使用しない場合は、ボリュームを左いっぱいに絞ってください。

※ マイク入力ジャック（XLR タイプ）をお使いの場合、このボリュームは感度調整つまみとして働きます。マイクが挿してある場合、左いっぱいに絞ってもマイク入力されます。

⑳ 入力ボリューム

ライン入力ジャック ① に入力される音量を調整します。

※ 何も接続しない場合は、ボリュームを絞ってください。

㉑ 出力ボリューム

ヘッドホン・ジャック ㉕ と**ライン出力ジャック** ② から出力される音量を調節します。左に回すと音が小さくなり、右に回すと大きくなります。

※ USB ケーブルを接続するときは、ボリュームを絞ってください。

㉒ 入力切り替えスイッチ

ギター／マイク入力ジャック ㉓ に接続する機器に合わせて切り替えます。ギターを接続する場合には **GUITAR**、マイクを接続する場合には **MIC** にスイッチを設定してください。

※ **入力切り替えスイッチ**を切り替える場合には、接続されている機器のボリュームを絞ってください。

㉓ ギター／マイク入力ジャック

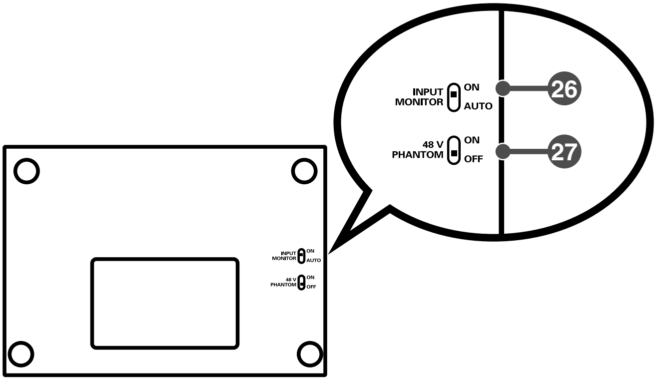
ギターやマイクを接続します。
音量の調整は**ギター／マイク入力ボリューム** ⑲ で行います。

㉔ マイク入力ジャック（プラグイン・パワード・マイク）

電源の供給が必要なタイプの小型のコンデンサー・マイクを接続します。
必ず、プラグイン・パワード対応のモノラル・マイクをお使いください。この端子からは、3.3V の電圧が供給されています。
音量の調整は、**ギター／マイク入力ボリューム** ⑲ で行います。

㉕ ヘッドホン・ジャック

ヘッドホンを接続します。
ヘッドホンを接続している場合でも、**ライン出力ジャック** ② から音が出力されます。



㉖ インプット・モニター切り替えスイッチ

すべての入力ジャックから入力されるオーディオ信号を**ヘッドホン・ジャック**㉒と**ライン出力ジャック**③へ出力するかどうかを切り替えます。ON に設定すると、入力信号は出力されます。
アドバンス・モードで ASIO ドライバをお使いのときに AUTO に設定すると、ソフトウェアからインプット・モニターのオン／オフを切り替えることができます。（→応用ガイド）
ASIO ドライバを使用していないときにはオフの状態になり、入力信号は出力されません。通常は ON にしてお使いください。

㉗ ファンタム電源スイッチ

側面の**マイク入力ジャック（XLR タイプ）**⑦に供給するファンタム電源のオン／オフを切り替えます。
ファンタム電源供給の必要なコンデンサー・マイクロホンを接続したとき以外は、ファンタム電源を必ず OFF にしてください。
ダイナミック・マイクやオーディオ再生装置などにファンタム電源を供給すると故障の原因になります。マイクの仕様については、お使いのマイクの取扱説明書をお読みください。
（UA-4FX のファンタム電源：DC48V、5mA Max）